

いきいき通信

第75号(2026年4月発行)

発行：寺沢さゆり後援会

〒381-0057 長野市浅川西条406-38

TEL / FAX 026-295-0585

HP : <http://www.terasawa-sayuri.net/>

E-mail : iki-iki@mbr.nifty.com

～人と人のつながりを大切にします～

寺沢さゆり 後援会会報

いきいき通信 第75号の内容

- 寺沢さゆりから後援会の皆様へ
- 若年性認知症って知っていますか?
- 能登半島支援

- 3月定例議会報告
- 福祉環境委員会から
- 監査報告について
- 日々の活動から



寺沢さゆりから後援会の皆様へ



新しい年度になりました。皆様の環境は変わられたでしょうか? 真新しいスーツ姿で少し緊張した面持ちで出勤する方、仕事が変わり新たに頑張ろうとされている方、学生の皆さんは新しい学び舎でワクワクしながら授業を受けているのでしょうか。長野市議会は10月が新しい年度始まりのため特に動きはありませんが、監査委員として監査報告を市長に提出しました。長野市では職員の移動があり、西澤雅樹副市長に代わり政策調整監を務めていらした川上忍氏が副市長となりました。副市長は当面の間1名体制で行くとのこと。令和8年度一般会計予算は1,952億2千万円と過去最大の予算となりました。小学校給食費の無償化、第2子以降の3歳未満児の保育料無償化、廃止

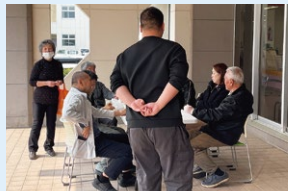
3路線の市営バス運行などの事業が新たにスタートします。進捗状況などを見ていく中で、予算が適切に使われているかをしっかりとチェックしていきます。4月1日から改正道路交通法が施行され、16歳以上の自転車利用者を対象に、信号無視や一時不停止など113種類の違反行為に反則金が科される「青切符制度」が導入されました。ながらスマホ、傘さし、右側通行などの危険運転を対象として反則金(5000円～)が科せられます。交通ルールをもう一度確認して安全運転を心がけてください。

本年度もできる限り現場に足を運び、自分の目で確かめものごとを判断していきたいと思っています、引き続きご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

能登半島支援

～引き続き求められる心の支援～

毎月伺っている奥能登にある珠洲市での支援活動。年度の切り替えで長野市の応援職員が7名から4名となりました。中には自分から希望し3年目になる職員もいます。また、他自治体からの多くの応援職員が働いています。これらの職員の皆さんも含め応援していかなくてはなりません。最近「誰かに話をしたい」「話を聴いてくれる人が欲しい」という被災者の方が増えてきていると感じています。災害ボランティアセンターが閉鎖され、復興ボランティアセンターが出来ましたが、募集しているのが引越しや片づけなどで心の支援などのメニューはなく、私たちのような被災者への寄添いボランティアは自分で支援先を見つけ活動している人が大半です。世界中で様々な紛争が起き、被災地のことはあまり報道されていない状況の中で、取り残され感が漂っています。先日何人もの方から「まだ来てくれるんですよね」と懇願されました。もちろんこれからも活動を続けていきたいと思っています。観光目的でもありがたいと言われているので、皆さんもぜひ能登半島を訪れてみてください。



「誰かに話をしたい」という声も



取り残され感の払拭が課題

若年性認知症って知っていますか?

認知症を65歳未満で発症した場合、「若年性認知症」とされます。働き盛りの世代で発症するため、ご本人だけでなく、ご家族の生活への影響が大きくなりやすい特徴があります。スコットランドでは、「認知症とともによく生きる」ための仕組み『自己選択支援制度』を作っています。診断前にやっていたことをあきらめなくていい。進行していても「最後まであきらめない」。しかし、日本の当事者からは、「日本の施策は認知症の人がお世話になっていると肩身の狭い思いをして支援を受けていると感じている」「自分らしく生きるために自分のことは自分で決めたい」と話され、家族からは、「当事者個人の幸せ=家族の幸せ」「日本も、自分の支援をしてくれる人を自分で募集して自分で選ぶ仕組みになったらいい」などと話されます。「認知症とともによく生きる」ための仕組みとはどのようなものなのか真剣に考えていく必要があります。

2月25日から3月23日まで開会され、令和8年度一般会計予算1952億2千万円が決定しました。主なものは、物価高騰対策緊急事業者支援パッケージなど早急に対応を求められているものに4億円、公立小学校の給食費無償化に伴い国からくる基準額1食298円との差額補填分(小学校低学年51円、高学年72円)と物価高騰による中学校の給食費上乘せ(1食につき74円)を合わせて12億9千万円、民間バス路線の廃止に伴い市バス等の運行に2億円、令和10年に迫った国民スポーツ大会・全

国障害者スポーツ大会開催準備に111億4千万円などです。令和8年度予算では、民生費が727億3千万円で全体の37.3%を占めており、昨年に比べると34億3千万円増となっています。また、教育費が341億3千万円で昨年に比べて68億4千万円増と大きく伸びているのは、スポーツ施設の建設が大詰めを迎えるからです。それに伴い令和8年度末の市債残高も56億8千万円増の1531億6千万円になる見込みです。今後予算が適切に使われているかしっかりとチェックしていきます。

福祉環境委員会から



新年度予算の福祉環境分野について委員会で審議しました。「民生委員・児童委員について」では、12月議会で活動しやすい環境整備に取り組むよう要望したところ、市内全地区で安定的に活動できるよう活動費を増額するとともに支援体制の継続がされることでしたが、地域の違いによって、活動するために必要な交通費等の経費負担に不公平感が生じているという意見や、活動費が定額であるため、本来実施したい活動に制限が生じているといった意見があります。また、複雑なプライバシーの問題にどこまで踏み込んでよいのか悩みを抱えている民生委員・児童委員も存在していることから、活動費の柔軟な運用と悩み事などを一人で抱え込ませないための相談・支援体制の強化について、引き続き、積極的に取り組むよう要望しました。「若者の相談について」では、今年度から「こども総合支援センターあのをっと」でも受け付けるということでしたが、保健所でもAYA世代(15歳から39歳までの思春期・若年成人世代)等メンタルヘルスケア支援を行う予定があり、同じような世代の支援をすることでしたので、お互いに連携しながら対象者等に相談窓口の周知を行うよう要望しました。

また長野市公式ラインでの基本メニューのボタンを「子育て」から「こども・若者」に変更を要望したところ4月から変更されました。どうぞご活用ください。

監査報告について

令和7年度定期監査(中期・後期)報告書、令和7年度随時監査(工事監査・後期)報告書、令和7年度財政援助団体等監査報告書【株式会社エムウェブ】、令和7年度財政援助団体監査報告書【長野市戸隠交流集会施設(森林囃子、ふるさとセンター)】を市長に提出するとともに、部局長や財政援助団体等に監査結果の講評を行いました。中身については長野市公式ホームページに掲載されている定期監査、工事監査(随時監査)、財政援助団体等監査をご覧ください。



▲監査一覧はこちらから



日々の活動から

農福連携

総面積が2町歩以上といういくつかのビニールハウスで野菜の栽培をしています。障害のある方々が収穫等をされていますが、その方その方の出来ることをいかした仕事をいきいきとされていました。



ていねいに指導されていました

里山整備

浅川地区の荒れた里山整備をする目的で「あさかわの里山と森を守る会」を結成し、毎年春と秋に森林整備活動をしています。私も久しぶりに参加しました。切り倒した木を玉に切り、切り出し薪割機で薪を作って販売しています。



森林整備活動に参加

こども議会

毎年恒例のこども議会が開催されました。12の提案を17人の皆さんで発表してくださいました。毎年拝見していますがどんどんグレードアップしているように感じています。これからも素敵な提案をお願いします。



すばらしい提案が発表されました

